2009

2009年6月11日
三井物産株式会社
ＪＦＥエンジニアリング株式会社

三井物産とＪＦＥエンジニアリングが合弁会社設立 農産物トレーサビリティ(栽培・流通履歴)の 情報処理サービスを提供

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下：三井物産）と、ＪＦＥエンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岸本純幸、以下：ＪＦＥエンジ）は、「株式会社アグリコンパス」（以下：アグリコンパス）を、2009年5月に折半出資で設立しました。

三井物産は、子会社で農業生産現場における栽培履歴管理を可能にする情報端末を商品化しています。一方、JFEエンジは過去20年に亘り、農産物の卸売市場の自動せりシステムや出荷団体向け集出荷管理システムに代表されるITシステムと、関連する物流施設のエンジニアリングを提供しています。アグリコンパスでは、三井物産とJFEエンジ両社の機能を融合することで、JA・農業法人を含む農産物の生産現場から卸・物流企業、小売・外食・中食企業、消費者までの一貫した農産物トレーサビリティ情報処理サービスの提供を開始いたします。本サービスは我が国初めての試みとなるもので、サプライチェーン全体の価値向上を図っていきます。アグリコンパスは2009年秋から本サービスを開始し、5年後の2014年に20億円の売り上げを目指します。

この新しいサービスは、サプライチェーン上の一元的なトレーサビリティ管理が可能で、全ユーザーは農産物の商品・品質情報に加え、栽培方法や流通履歴の入手が可能となります。農業者にとっては携帯端末を通じた栽培履歴の記録と参照、そして適切な農薬使用方法の確認が可能となり、生産性の向上に大きく寄与するものと考えます。アグリコンパスの情報処理サービスは自社が保有するデータセンターにインターネットを介して利用出来る仕組みとなっており、農業者にとっては高度な栽培履歴管理を少ない費用負担と簡単な作業で実現出来ます。又、流通企業、小売・外食・中食企業及び消費者にとっても「食の安全」情報を全国どこからでも効率的に活用出来ることが特徴となっています。

三井物産とJFEエンジは、アグリコンパスを、「消費者における食の安全・安心と、農業者における農産物の栽培支援及び生産効率向上を目指す情報プラットフォーム企業」として、国内のみならず、海外展開も視野に入れて育成していきます。又、これらの情報処理サービスをテコにＪＡ・農業法人を含む生産現場、流通及び小売・外食・中食、全ての関係者と協力し、日本の農業・食品流通分野の更なる活性化に資する新たなビジネスを展開してまいります。

◆新会社の概要

社名	株式会社アグリコンパス
代表者	取締役社長 森下司
資本金	2億円
出資者	三井物産株式会社　50% JFEエンジニアリング株式会社　50%
	農産物栽培・流通に関する情報処理サービス（農産物ト

事業内容	レーサビリティサービス）
所在地	東京都千代田区大手町二丁目6番2号
設立	2009年5月14日

以上

【参考資料】 農産物の生産・流通・販売全て対象とする情報プラットフォームサービス

●本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。
三井物産株式会社 広報部 報道室
ＪＦＥエンジニアリング株式会社 総務部 総務室 広報グループ